姉貴
とのハジメテは
こたつの中。
1
BURIO

姉貴とのハジメテは
こたつの中。

第1話

ねぇ 未央ちゃん
今日は俺の家で宿題しようよ
え?本当?
やっと和也君の家に行けるんだね…
嬉しい
実は今日は家に誰も居ない
普段は彼女の家でイチャついてるが
今日は俺の家で…♪

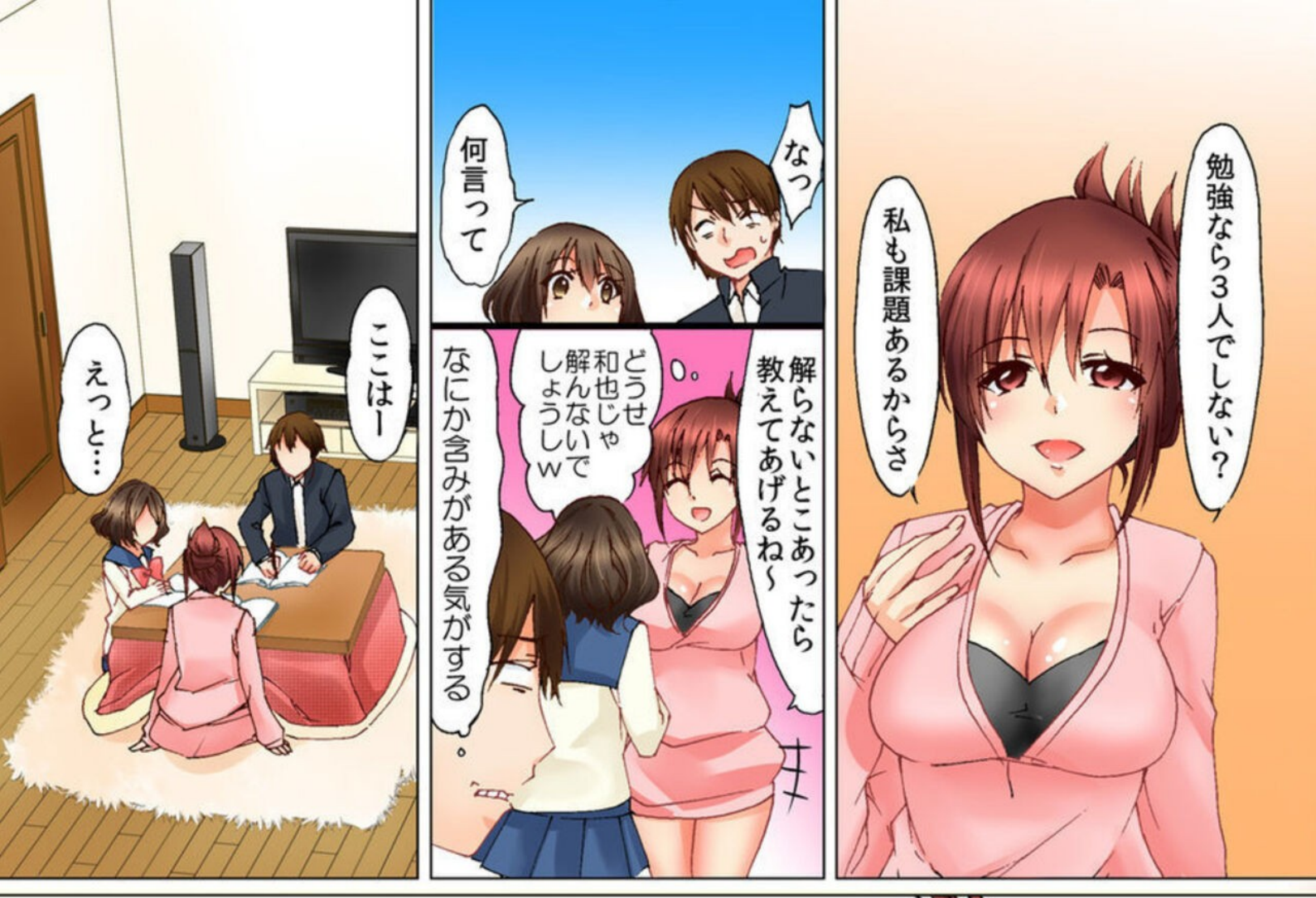
寒いし リビングのこたつで勉強しよう
うん…
暖かいね
う…うん…っ
まっしろ…
ドキドキ
ついに未央ちゃんが俺の家に…
ムラムラ
みっ…未央ちゃん…！
びくんっ
ちゅう♥
ぷにゅ
んっ
れろ
れろ
はぁ
ぷはぁ…

ぽゃ～～ん♡
はぁ～～♡
はぁ～～♡
和也君もっもう…？
ごめん
でも未央ちゃんが
家に居るって思うと
なんだか興奮しちゃって
ドキ
ドキ
どさ…
ドキ
ドキ
ドキ
あっ
和也君…
あっ
ぐいっ
ぷくんっ
ぷりんっ♡
やだ
恥ずかしいよ…
ちゅ
ちゅ
たぷ♡
たぷ♡
あぁっ♡
何で？
いつもしてるのに？
ん♡
くにくにくに
ちゅっ～
ちゅっ～
びくびくんっ

だってここ和也君の家だから…
しかもこんなリビングで…
誰か来たら…
ちゅ
ちゅ♥
ちゅ♥
ちゅ♥ ちゅ～♥
はぁっ はぁ～
むに♥
むに♥
大丈夫 今日は親も姉貴も帰り遅いから
じゅわっ
ぴょこ♥
くいっ!
なんだ未央ちゃんも興奮してたんだ♪

あっ
まってそこはぁ
はぁ〜〜♡
はぁ〜〜♡
体中とろとろだね…
ちゅぱ ちゅぱ
むにっ♡
ぷっ♡
ゴクンッ
すごい…
指が吸い込まれていくよ
くちゅ♡
くちゅ♡
和也君…
私もう…
はぁ〜〜♡
はぁ〜〜♡
ビキビキ
ほしいの？
未央ちゃん…
ただいまー
ガチャッ

キィ
パタンッ
今日の予定キャンセルされたから 早めに帰ってきちゃったー…
って
あら どちら様？
間一髪…
…
あの
何で姉貴が…
私 和也君とお付き合いさせて頂いてる
正直
柳 未央です
コイツのせいで今まで未央ちゃんを家に呼べなかったのだ…
はじめまして 私は和也の義姉の月島 音葉よ
よろしくね 未央ちゃん
猫かぶってんじゃねー!
未央ちゃん 部屋で勉強しよ
えっあの
ちょっと待って


勉強なら3人でしない？
私も課題あるからさ
なっ
何言って
解らないとこあったら教えてあげるね～
どうせ和也じゃ解んないでしょうしw
なにか含みがある気がする。
ここはー
えっと…

姉貴め…俺と未央ちゃんの大事な時間邪魔しやがって…
くそ…さっき中途半端なとこでやめたせいでムラムラ収まんねー…
むぐっ
どうしてくれるんだよ～

続きヤリて～…
部屋に行けば
続きできるのに…
！
そうだ！
こたつの中は
姉貴には見えない！
完全な死角！
そして そこには
そおぉ
畜生！
もにっ
未央ちゃんの太もも…！
ぴと…

ちらっ
嫌がってはないな…
恥ずかしがってるが
よしっ
このまま…
びくっ
はぁ…
太ももスベスベだな…
なでなで
さわり心地
最高だよ…
ドキドキ
我慢してる
未央ちゃん
っ
可愛いなぁ
もっと奥
触っちゃおう
すすすっ

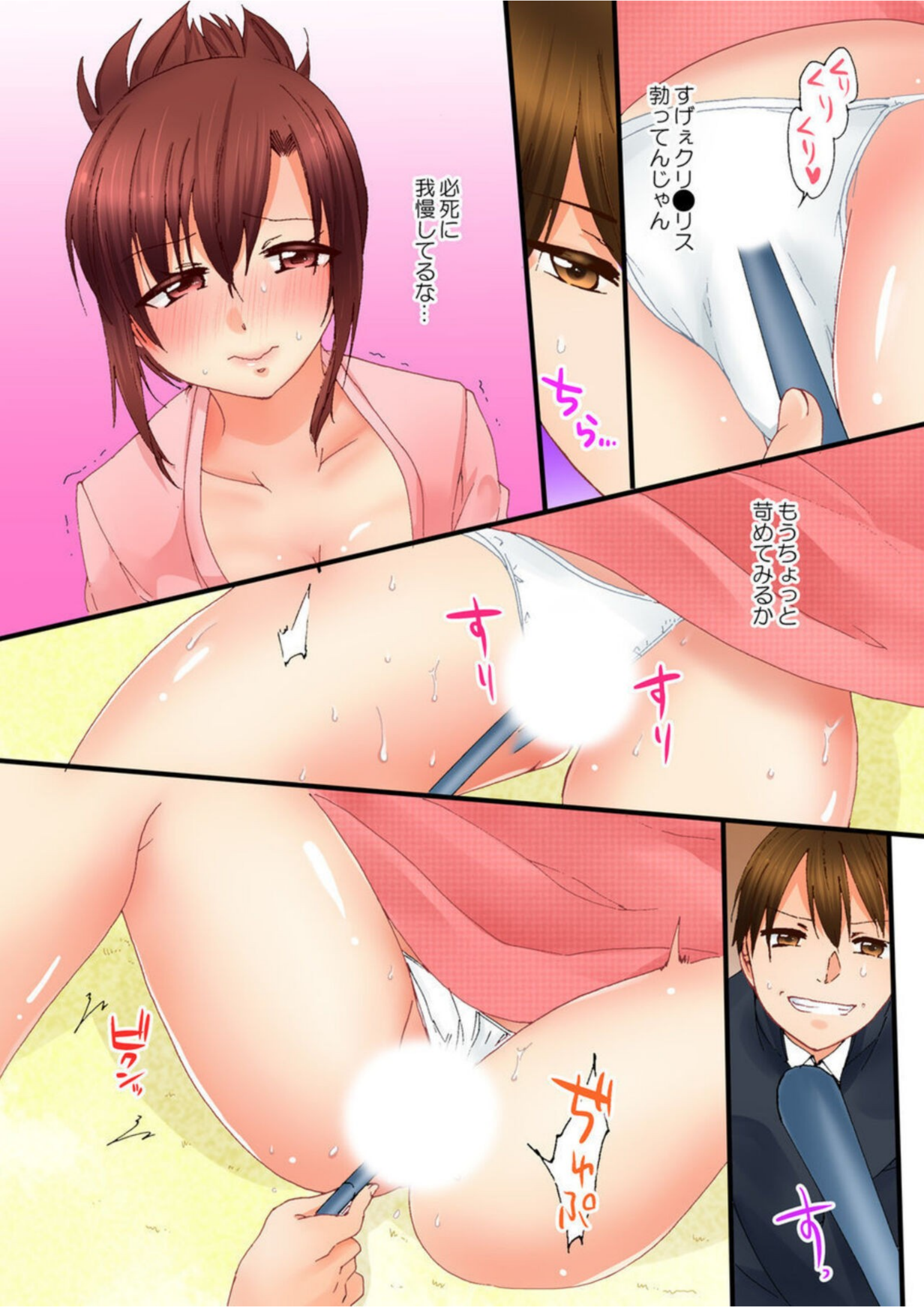
すっ
むにゅっ♥
すすっ
あの！
おっ御手洗いどこでしょうか？
もじ
もじ
廊下出て右側のドアが御手洗いよ
パタン
え
まさか
え？
この太ももって
たらぁ
ちょっと
どーいうつもり？

ねぇ？なんとか言いなさいよ
バーンッ
ずいっ
弟のくせに私の太ももも触って
どーいうつもりだって聞いてるの！
これは誤か…
ガチャ
ありがとうございました…
お姉さん
いいのよっさっ寒いからこたつに入って♪
コロっ
あっ
ぎゅっ
未央ちゃんの前では猫かぶりやがって…
プル
プル
くそー

くそー…
コロ
コロ
にゃ
俺だってやられっぱなしじゃないぞ…！
スッ
ああー
気にしないで2人は勉強続けてて
どうしたの？
ペン落としただけ
コロ…

で ここはこういう式を使うと…
そおい
澄ましてられるのも
今のうちだぞ
ビクン
姉貴！
つん
おおっ
ペン越しでも
柔らかいのが
伝わってくるな
ぷ
にぃ

あっあのここも同じ式でいいんですか？
うんそうよ
ありがとうございます！
感じてる
感じてる♪
上の方はどんな感じかな？
すすす
ぴくっぴくっ
つんっ
びくんっ


くりくり♥
すげぇクリ●リス
勃ってんじゃん
ちら…
必死に
我慢してるな…
もうちょっと
苛めてみるか
すり
すり
す。
ビクンッ
ちゅぷ

わぁ ちゃんと解けた
で…でしょ？
ドキ
つん
ドキ
ドキドキ
やだ…
ちゅぽっ
そんなに激しくされたら…っ
ちゅぽっ
んんっ
あっ駄目
イク〜〜〜ッ!!!
ビクンッ
ビクンッ
じゅぽっ

お姉さん
息が荒いみたいですけど大丈夫ですか？
心配しないで
大丈夫
きゃんっ
きゃんっ
あー！
あったあった！
良かったね和也君！

はい
お邪魔しました！
バタン…
大丈夫まだ明るいし
今日は本当にありがとうございました
また来てね
送っていくよ
いいのよ
あっもう帰らなきゃ

え
流石にさっきのはやりすぎた…
絶対仕返しされ…
和也ー
夕飯出来たから音葉を呼んできてちょうだい
はいはいー
…
姉貴飯だってよー…
開いてる…
と言っても顔合わせづらいな

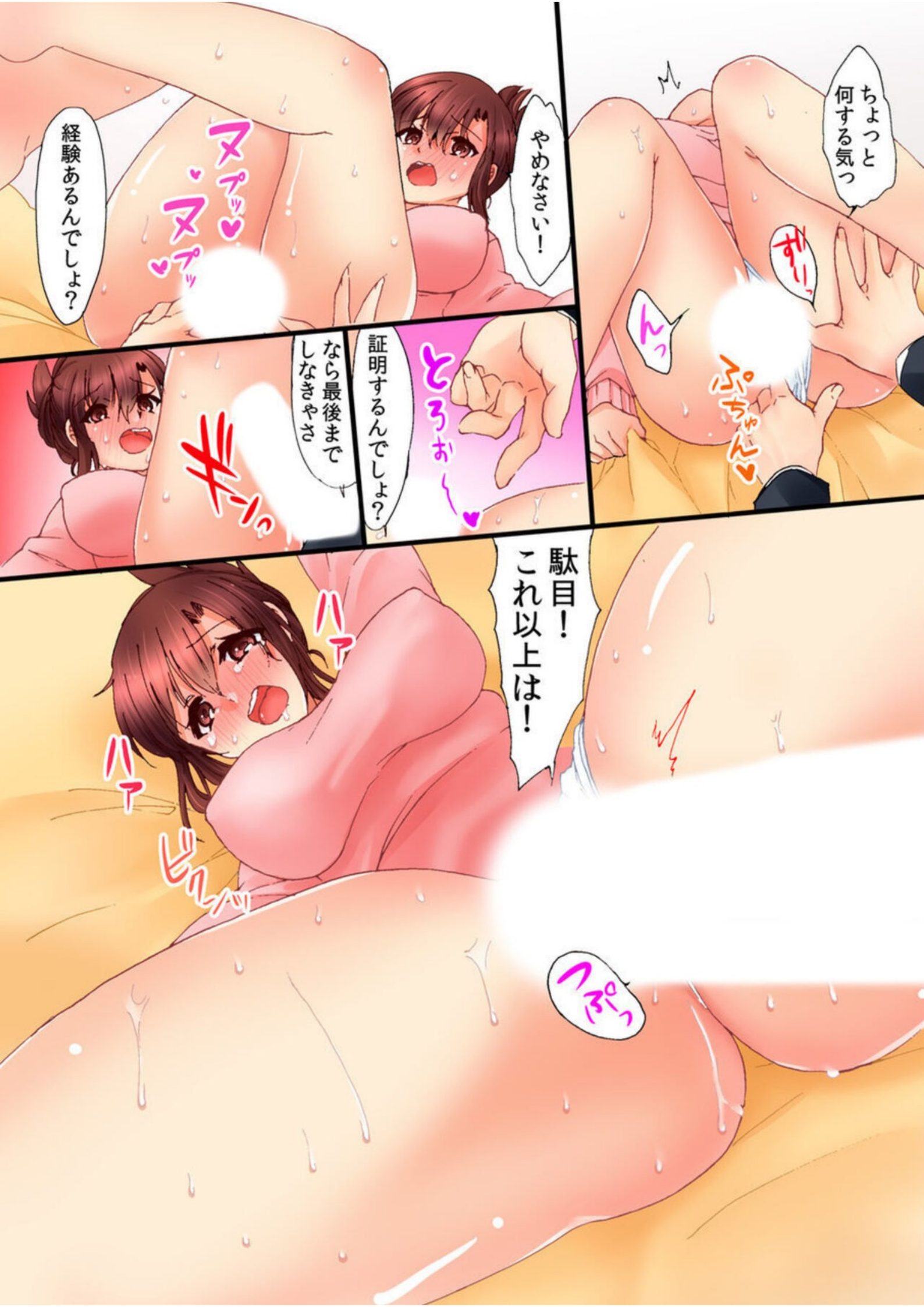
姉貴
びくっ
居るよな…
ぶ
フーッ!!
は—は—
何するんだよ!
アンタこそ
どういうつもりよ!
彼女がいるのに
何であんな事したのよ!
ばっ
あれはちょっと
からかっただけ…
むっこ

姉貴ってもしかしてさー
カチャ
エッチな事したことないの？
なに言ってるのよ！そんなわけないじゃない
なんでアンタがしてて私がしてないと思えるわけ？
へー？本当に？
本当よ！
じゃあさ
証明してよ
ずるうんっ
！
ビキッ
ぎゅっ

ふんっ
いいわよ…っ
証明してあげる！
ぴくっ
ナデナデ
カアアア…
くいっ
これが和也の…
ドキ
こんなに
大きいなんて
知らなかった…
ドキ
こす
こす
こす
勢いでこんなことに
なっちゃったけど
ここからどうすれば…。
シコ…
シコ…
フェ●チオとか
しないとさー
擦ってるだけじゃ
イケないよ？
フェ…!?
口でするの
びくっ
解ってるわよ
そんな事！
今しようと思ってたの！
ドキ
く…
ドキ
口でって…

かぷっ
うわ…
ずるるるー
んんっ
マジかよ…
姉貴が…俺のチ●コしゃぶってる
んっくっ
ふっんっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ

もっと奥までしゃぶって！
ぢゅぽっ!!
おぶっ
んっんんっ
ぢゅぽっ
ふんっんんぷっ
ぢゅぽっ
あぁっイクっイクっ
どぴゅう
これが精●…
はぁ～～
本当に白くてドロドロしてる
えい
ボフン
へっ
どんっ


ちょっと
何する気っ
ずぃっ
んっ
ぷちゅん♥
やめなさい！
経験あるんでしょ？
ヌプッ♥
ヌプッ♥
証明するんでしょ？
なら最後まで
しなきゃさ
とろぉ～♥
ズンっ
駄目！
これ以上は！
ハァ
ハァ
ビクンビクン
つぷっ

姉貴とのハジメテは
こたつの中。(1)

著者　BURIO

発行　Wコミックス

本書の無断転載・複製等は著作権法上禁止されております。

姉貴
とのハジメテは
こたつの中。
2
BURIO

姉貴とのハジメテは
こたつの中。

第2話

あっ
だめっ
いやっやめてぇ!!
ギシッ
挿入っちゃう…!
ギシ
ぴと
コンコン
ビクッ
はぁ〜
はぁ〜

和也
音葉
何してるの？
ご飯　冷めちゃうわよ
はっ
はぁ～～～
すぐ来なさい
くるっ
よかった
ほっ
バレなかっ――…
離れて
ぐりっ
カチャ
カチャ
カチャ

くそぉ…
また寸止めかよ…
くそっ
むくっ
…そうだ
あっ
コロン
コロン～
さっ
箸落としちゃった
またイかせてやる！
ウ!!
なんか凄い音したけど
頭でも打ったんでしょ
もく
もく
はいっ
しゅうゆ

翌日…
ピンポーン
はぁい…
ガチャ
おはよう
和也君
未央ちゃん!?
おっおはよう
わしっ
わしっ
でも
どうしたの？
これからは
一緒に登下校
したいなって思って
未央ちゃん…
きゅん
あら
ひょっ

おはよう
未央ちゃん
おい
おはよう
ございます
音葉さん
すみません
勝手に家に来て
気にしないで！
どんどん
来ていいから！
姉貴め…
未央ちゃんに
馴れ馴れしくしやがって
何が目的だ
まさか
未央ちゃんを使って
昨日の仕返しを
しようと
してるんじゃ
フフ…

畜生…昨日の可愛い姉貴はどこ行ったんだよ!!
いや 本当に凄かったなぁ…
フェ●に
手マ●で濡れ濡れになってさ
先っぽだけだったけどマ●コの感触も最高だった…
うん

あぁ でも
もっと パイ●リとか
お掃除 フェ●とか
それで 奥までズッぽし
がっつり セックス！
うん うん
あぁ～ 最高だろうな…
じゃあ 良いんだね♪
へ？
嬉しい～

お休みの日に
和也君と家デート♪
もしかして
今の頷きで
会話聞いてると
思われて…
うん
うん
あっ姉貴は？
お家に入ったけど
ばっ
良かった
今の聞かれて
ないんだな
姉貴！
明日予定は？
たっ
授業ないから
家に居る
つもりだけど
きっ昨日のお詫び
これで美味しいものでも
食べてきてよ
ぴらっ
…
わかったわ
ありがとう

――週末
わざわざ迎えに来なくても良かったのに
いいの いいの俺がしたいんだ
ただいまーって今日は誰も居ないんだけど
おかえりー
!?
音葉さん！
未央ちゃんこんにちは！
あっ

なっ
なっ
なっ
なんで
姉貴が
居るんだよ！
外食に行く
約束は!?
ちょっと
お金に余裕が
あったから
おい
姉――…
ケーキ
いっぱい
買って来たの
3人で
食べましょう
ね？
じゃ 私用意して
くるから2人は
居間で待ってて
くるっ
はーいっ

パタン
姉貴め…
全部お見通し
だったうえに
俺の金使って
ケーキ買ってくるとか
ぎりっ
許せねぇ
カチャ
和也君？
あ あのさ
この間 面白い映画
借りてきたからさ
一緒に観ない？
いいよ
じゃあ
ちょっと
とってくるね

ふら
キィ…
くすくす
作戦成功――っと…
ちょっ
和也！あんた
ぴとっ
むにゅ♥

姉貴がイケないんだぞ！
こんな酷い嫌がらせして
むっちむっち
未央ちゃんと家デートだったのに
何言ってるの…元々あんたが先に
んっ
くりくりっ
するこ
ぴくぴく
くにくにっ
んっ
びくっ

しっしら
するる
やめなさいっ
たぷん♥
昨日の分も含めて
はっ
はっ
あっ
あぁ♥
やめ♥あっあ♥
いやぁ♥ん♥
もにゅっ
やっ
するる…
たっぷり
お返し
してやる！

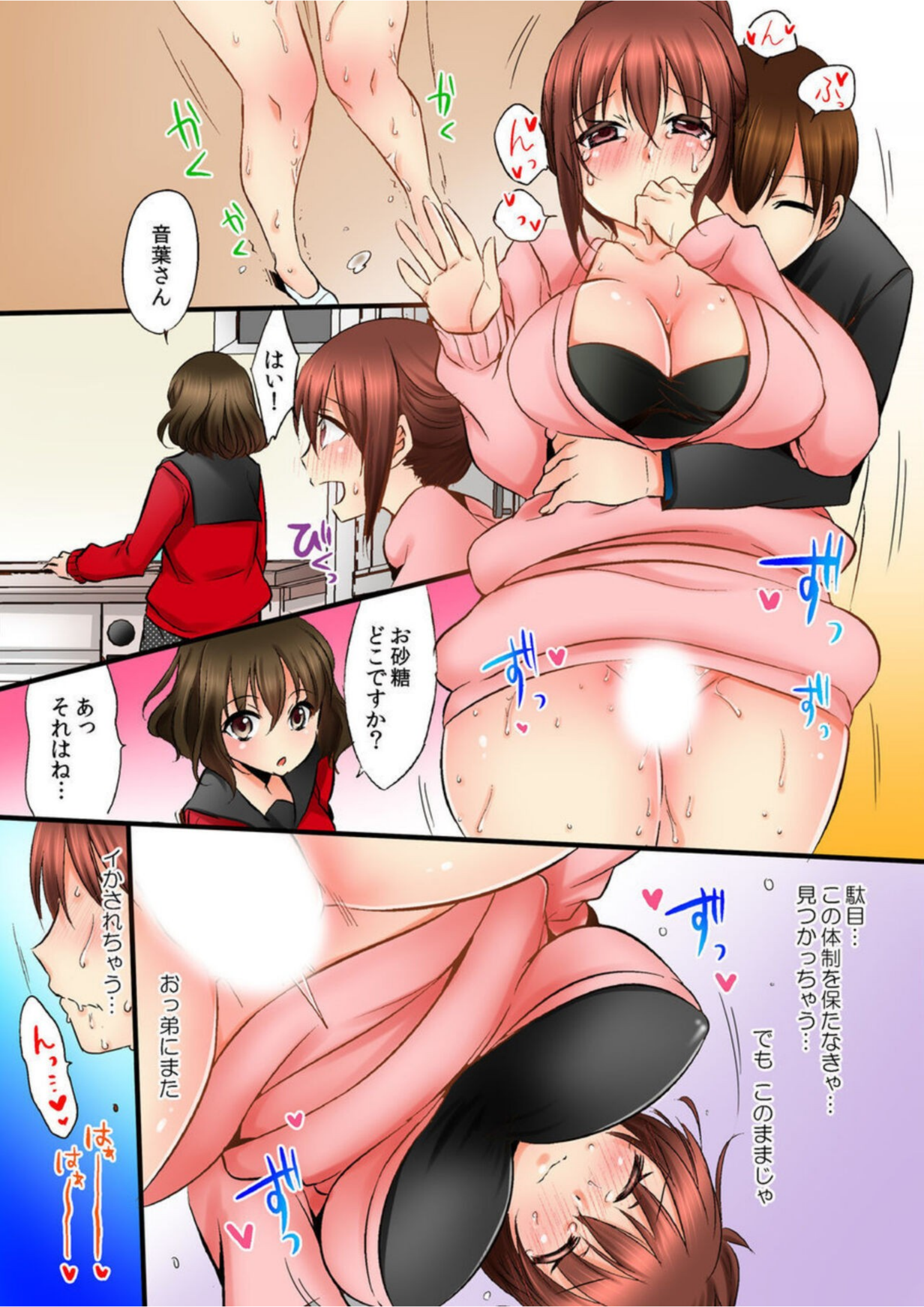
冗談はやめてよ！
冗談～？
ばっ
！
ぴとっ
これが冗談に思える？
ビンッ
昨日から寸止めばっかで溜まってるんだよ
ぐにっ
ぐに
挿入れるよ…
つぷっ
やっやめっ

音葉さん
やっぱり私も手伝います
ガチャ
和也君もいなくなっちゃってー
あれ？
あっあ～未央ちゃん
ひょっこっ
いいのよ気を使わなくて
ど どうするの
いいから誤魔化して

じゃないと
パンツちぎる！
いやぁ！やめて！
いいんです
やりたいんです
えっでも
あっあ
じゃあ
そっちに茶葉の
詰め替えが
あるから
探して？
はーい
とりあえず
冷蔵庫の方に…
ごめんね
お父さんが新聞
散らかしてて
大丈夫です
さっ
ささっ
あっ2つある
どちらですか？
バカンッ

私 ケーキ出すから
手前の紅茶の方いれてくれる？
いいんですよ～ティーカップはどこですか？
わかりました
ごっごめんね…
ドキドキ
ぬっ…
ぬっ…
ぬっ…
ぬっ…
ちょっと何してんよ和也！
えっえっと…
上の戸棚…に…
大丈夫大丈夫素股だから
ハァっ
ハァっ
ビクっ
ビクっ
ぬっ♥
ぬっ♥
ぬっ♥
この上ですか？
う…うん

こんなの絶対バレちゃうわよ…
いいから！
イったら止めるから！
熱いのが…擦れて…
それに
どんどん固くなって
やだ…こんなの
こっちまで気持ち良くなってきちゃう


音葉さん
はい！
お砂糖どこですか？
あっそれはね…
駄目…この体制を保たなきゃ…見つかっちゃう…
でもこのままじゃ
おっ弟にまた
イかされちゃう…

そんなに
早く動かさないで
バレちゃう!
はぁ〜〜〜
はぁ〜〜〜
ヤダ!何バカなこと
言って——…
そんな事
言ったって
姉貴のマ●コ
すげぇ気持良い…
ずずっ
あ〜
もうイク
イクよ
ハァハァ
ずずっ
姉貴!
駄目…
このままじゃ
私まで
ハァ
ハァ
パチン
あっ
んっ
いっ

イクぅぅぅぅ
ぴっぴっぴっぴゅっ
びくっびくんっ
はぁ〜♡はぁ〜♡
音葉さん終わりました
はっ
はひっありがとう
あ
和也君いやぁ姉気に捕まって手伝わされてたんだ
はは…
えっそうだったのー？
びくっびくんっ
ありがとう2人とも…

じゃあ
先に運んで
おきますね
うん！
パタン
…

パンツ返しなさい！
ぽしっ

はぁ…
結局3人で
ケーキ食って
終わっちゃった…
ぽすん

まぁ また 可愛くてHな姉貴が 見れたけど
って
よく考えたら 最近 未央ちゃんと Hしてないじゃん
俺の彼女は未央ちゃんだぞ!
ぱっ
やっぱ家じゃHは 無理そうだし
ホテル
ラブホとか…
嫌がりそうだなぁ
こわいっ
こわいっ
はぁ…
ガチャ
あれ? 何してんの?
音葉の就活用の スーツ探してるの
週末 買いに行くから 留守番よろしくね~
!

姉貴とのハジメテは
こたつの中。(2)

著者　BURIO

発行　Wコミックス

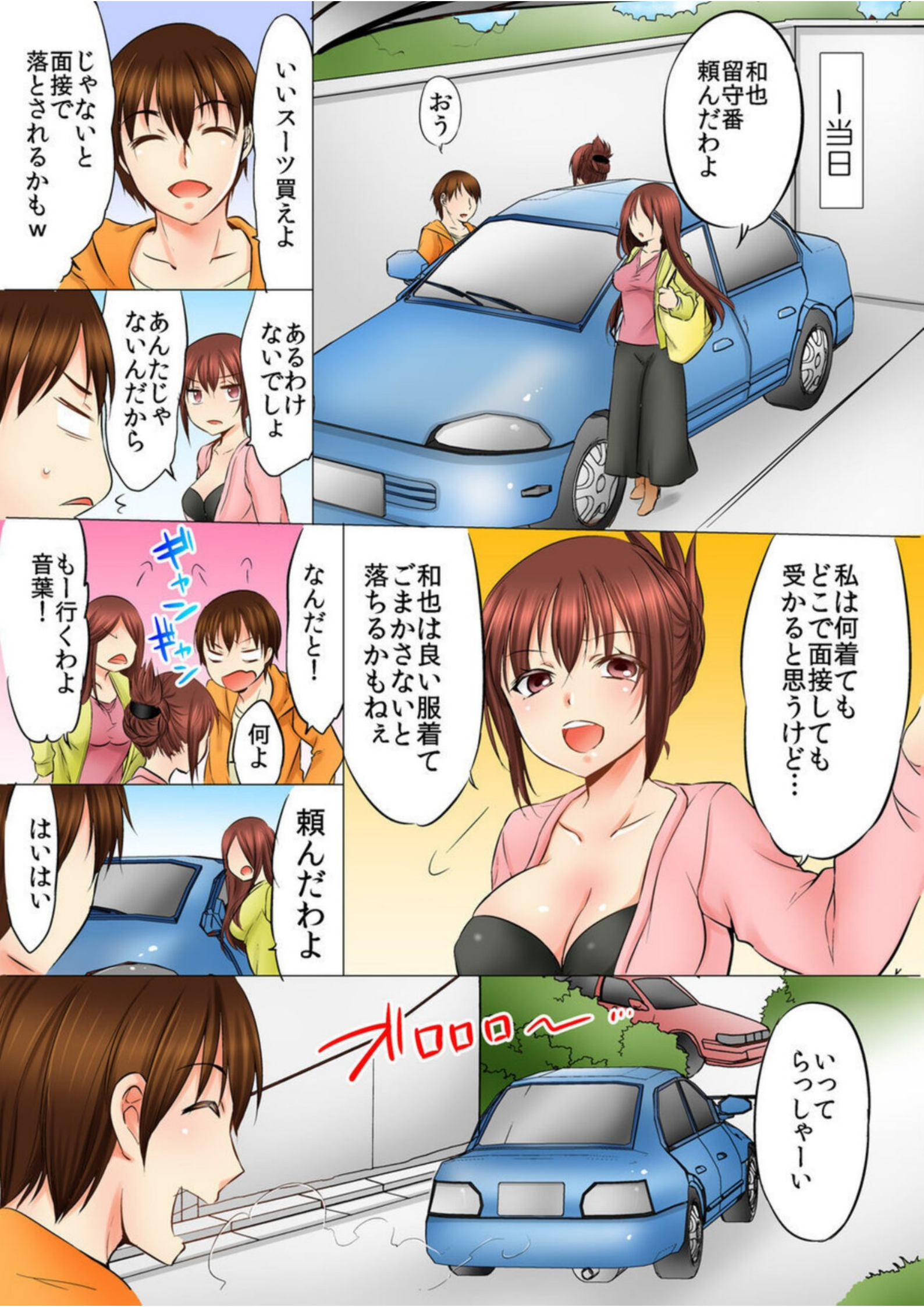
本書の無断転載・複製等は著作権法上禁止されております。

姉貴
とのハジメテは
こたつの中。
3
BURIO

姉貴とのハジメテは
こたつの中。

第3話

今度の休みにまた家に？
うん！いいよ
時間はお昼過ぎくらいでいい？
うん
じゃあおやすみ
ス…
よっしゃ！
これで今日のリベンジが果たせる


ー当日
和也
留守番
頼んだわよ
おう
いいスーツ買えよ
じゃないと
面接で
落とされるかもw
あるわけ
ないでしょ
あんたじゃ
ないんだから
私は何着ても
どこで面接しても
受かると思うけど…
和也は良い服着て
ごまかさないと
落ちるかもねぇ
ギャンギャン
なんだと!
何よ
もー行くわよ
音葉!
頼んだわよ
はいはい
いってらっしゃーい

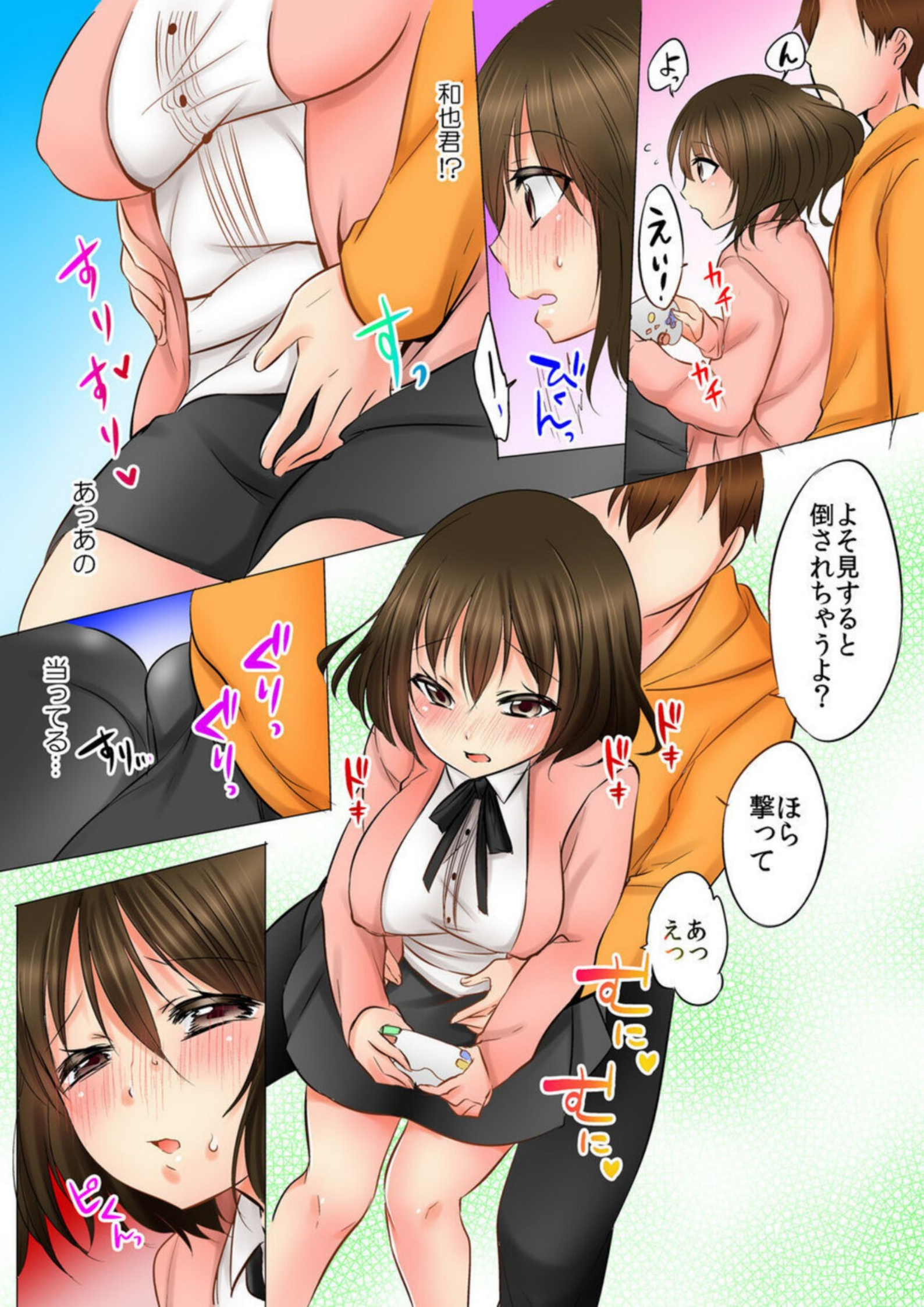
ふりふりっ
さて…
未央ちゃんに連絡…
和也君！
うわっ
未央ちゃん!?
びくんっ
ちょっと早く
来ちゃったけど
駄目だったかな?
はは…
いやっ…全然
それより私服
新しいやつだね
似合うよ
本当?
嬉しい！

パタン
俺が紅茶入れるから未央ちゃんは座ってて
いいの？
うん
ありがと
おまたせ
熱いから気を付けて
コト
コト
はーい
ふぅー…
ドキ
ドキ
まだ結構緊張する…
和也君の家にあがるの3回目だけど
うん
…する
ん？

これは
いや 間違いない！
未央ちゃんだってシたいはず
姉貴の件もあって
ご無沙汰なんだ
未央ちゃんも
期待してるんじゃないか？
俺が家に呼ぶ度に！
パチっ
ね？
かぁぁぁ
間違いない！

あのさ
最近 新しい
ゲーム買ったんだ
それで
遊ばない？
2人で？
ううん
一人用だけど
教えてあげるよ
ゲーム
下手だけど
教えてくれるなら…
やろうかな
よっし！
じゃっ
早速
ウィー
ヴゥン

さっ
ここ座って
え
ポン
そこに？
ポン
うん
ポン
！？
そこのアイテムを
取ってセレクト画面で
装備して
うん…
で攻撃！
えっと…
ここは
どうすれば？
上手い
上手いっ
カチっ
ぴと
ありがと…
カチっ
ドキ
このゲーム
むずかしいけど
面白いね


ん
よっ
えい！
カチ
カチ
和也君!?
びくっ
すっ
すりすり♥
あっあの
当ってる…
すり…
ぐりっ
ぐりっ
ドキ
ドキ
ドキ
よそ見すると
倒されちゃうよ？
ほら
撃って
あっ
えっ
むに♥
むに♥
ピくっ

はぁっ
はぁっ
むに♥
和也君っ
そんなに強くしちゃっ♥
ぴくっ
むに♥
あの日以来触られてないから…
んんっ
ぴくっ
いつもより
ビにっ
久々で
くにくにくにっ
びりっ
びりっ
感じちゃう
くちゅっ
くちゅっ
あ♥
そく♥
そく♥
あぅ♥はぁ♥ん♥
そく♥

もう我慢できない！
びくっ
えっ!?
和也君ゲームは
ぱっ
ぴくっ
またあとでやろ
すた
今は
すた
とさっ
こっち
ちゅう♥
ぴくんっ
くちゅ♥
くちゅ♥
ふぁ♥んっ
はぁ～～♥
はぁ～～♥

和也君…あの
この場所はやっぱり恥ずかしいよ
ドキ
ドキ
ドキ
また前みたいに誰か来たら…
もじ…
もじ…
あっ
はかっ
大丈夫
する
ドキ
ドキ
ドキ
今日は絶対みんな夜まで帰って来ないから
ドキ
ドキ
ドキ
つぷぅ

そんないきなり
ドキドキドキ
十分濡れてるよ
ぷちゅっ
でも久しぶりだから
マプッ
ドキドキ
あぁ
ん！
ずっ
ふぁ♥
あ♥
だめっ
パンパンパンパンパンパン
あ♥
ひん♥や♥あ♥ん♥

ズーンっ
びくん！
あぅ
和也君の…
すごく固い…
いいっ
すちゃ
すちゃ
すちゃ
あ
ふぇ
そんなので
奥まで
突かれたら
んあ
パン
パン
パン
あ
すぐに
イっちゃいそう…
あ
あ
駄目…
我慢しなきゃ
あ
パン
パン
パン
パン
あっ
ひっん
私ばっかり

あぁ
気持ち良くちゃ駄目…
和也君にも…
気持ちよくなってほしい…
未央ちゃん
和也君

久しぶりの未央ちゃんの膣…
キツくて気持ち良い
そこは…
未央ちゃん
締め付けがきつく！
未央ちゃん俺もう
私も…

忘れ物しちゃった！
最悪！
バーン
ふぇ
かぁ
あぁ
うぁ
いやぁあああっ
どんっ
今日は大丈夫って和也君言ってたのに
ウソつき

もう暫くエッチしない！
ばっ
あ
パンツ
だしゅっ
パシッ
バタンッ
えっ
つとお…
和也…
…
スタ
スタ
スタ

ばんっ
きゃっ
わざとだろ…
え？
俺が未央ちゃんと家に居るって解って
帰ってきたんだろ
わざと！
嫌がらせのために
ひどいよ姉貴…
ちが
ドンっ
！

ちょっと待って
誤解よ！
本当に偶然
あ
何するのよ！
ぷいっ
それはこっちの台詞だよ
ぶるるるんっ
びくんっ
きゃっ
久しぶりの未央ちゃんとのエッチだったのに！

はっ
きゃあ
いや
とれっ
やめてぇ
パカっ
和也
お願い…っ
すりゅ
すりゅ
ぬちゃ
ぬちゃ
責任
とれよ！
とろ
すりっ
すりっ
だめっ
こすらないで
ビキ
ビキ
挿入れるぞ
やっ
いやぁ
とれっ
あ

やめて
お願い！
バタ
バタ
和也！
ぐぐっ
あっ
やだっ
やめて！
ぷっ…
くちゅ…
びくっ
あぁ
あぁ
あぁ
あぁ
嘘…
はっ
はっ
すちゅう♡
すぶぶ…
挿入ってる…
和也のが…
びくっ
びくん

あっやっ
ずちゅ
だめ、やめて
いやっ
んあっやめてっ
あっやっひんあっ
あうだめっ
ずちゅんっ
ビクンッ
あぁあぁ

ずっ
ずっ
姉貴の中キツくて
ずちゃ
ずちゃ
最高だ
和也のが出たり入ったり…
やめなさいって言わなきゃ
あぁ…イキそうだ
はっ
はっ
へっ
ん
ん
パン
パン
パン
駄目…もう頭がフワフワして
いけないのに
や
んっ
んっ
ひん
んっ

くっイクぞ！
姉貴！
どくっ
どくっ
どくっ
やっあっうそっ
やはだめぇえ
ぴゅっ
ぴゅっ
ぴゅ
ビクン
ビクン
ビクン
どくんっ♥
…
ふうー…
ズボッ
ぽぉ
う
あっ…
う
う
!!
血…？
もしかして…
姉貴…

姉貴とのハジメテは
こたつの中。(3)

著者　BURIO／鱗

発行　Wコミックス

本書の無断転載・複製等は著作権法上禁止されております。